

教科(科目)	美術 I	単位数(時数)	2単位(74)	学年(科)	1学年
使用教科書	日本芸術出版『Art and You 創造の世界へ』				
副教材等	なし				

1. 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2. 指導の重点

- ① 本校の位置する美しい自然や地域の文化財、文化施設を活用しながら美術の幅広い創造活動を行う。
- ② 絵画、彫刻、デザイン、建築、映像メディア表現を学習する。また、美術史を学び、理解を深める。
- ③ 美的体験を豊かにし、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
- ④ 鑑賞を通して、多様な見方を探究し、時代・民族・風土による各々の美術文化を考察する。

3. 評価規準と評価方法

○美術への関心・意欲・態度

美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

○発想や構想の能力

感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。

○創造的な技能

創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。

○鑑賞の能力

美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的芸に味わっている。

<評価方法>

課題の内容、提出状況、授業の取り組みなどから総合的に評価する。

4. 学習アドバイス

- ① 美術を愛好し、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行う。
- ② 芸術的な感受や表現の工夫、創造的な表現の技能を習得する。
- ③ 日本、諸外国の芸術、文化を学び、理解を深め、豊かな感性を身につける。

(担当：水落 なおみ)

月	単元・考査等	時数	主要学習領域	学習活動（指導内容）
4	オリエンテーション 身の回りのもの	4	・高校の美術の学習の意義 「芸術と私」 ・手のデッサン	・学習内容と心構えを芸術文化との関わり 思索する。 ・生命感の感じられるいきいきとした描写 をする。
5	石膏デッサン	6	・ビーナス ・ブルータス ・ジュリアーノメジチ ・マルス ・アリアス他	・観察による表現 ・画面の構図量感、ムーブメント明暗による 表現 ・美しさの感じられる正確な描写ができる。
6	静物画	8	・牛頭骨、器物、果物、 トランペット、布他	・モチーフを構成し静物画における構図や 主題について理解を深める。
7/8	作品制作	12	・F10号キャンバス 着彩制作	・観察の幅を広げ美の所在発見への認識を 深める。 ・多様な表現方法の工夫をする。
9	色彩学	8	・水彩画 ・洋画 ・日本画 ・アクリル画等の絵の具の技 法	・グレイズ技法 ・ブラッシュストローク ・ドライブラッシュ ・ウェット、イン、ウェット技法 ・ウェット、オーバー、ドライ技法
10	・文化部発表会 ・色と形からのメッ セージ ・レタリング	6	・展示、鑑賞 ・「デザイン選手権大会」 ・文字のデザイン ・黄金比	・鑑賞する能力を養う ・テーマに沿って、問題提起→企画→演出 ・和文書体・欧文書体 ・比率（黄金分割、フィボナッチの数列な どの利用を理解する）
11 /12	デザイン・工芸	18	・世界遺産・創作	・日本、諸外国の文化、伝統を考察し創造 的にパネル制作
1	デザインと人間 工学	4	・日常の中のデザイン ・工芸	・デザイン・工芸と人間生活、環境との関連
2	音楽から発想するイ メージ構成	4	・聴覚から感受するイメージ を視覚的に表現	・人間の知性と敏感に響きあうウイットに 富んだ創作
3	・総合芸術への発展 ・地域の文化財 ・文化施設	4	・絵画、彫刻 ・グラフィックデザイン ・プロダクトデザイン ・環境構成デザイン ・映像メディア表現 ・池田記念美術館で作品鑑賞	・多分野にわたりさまざまな芸術を総合的 に捉える。 ・総合芸術の社会での役割。 ・国際間の文化交流を理解する。 ・芸術文化を尊重する態度を養う。

計 148 時間（48 分授業）